

# 日英教育学会第33回大会プログラム

大会実行委員会委員長 吉原美那子(高崎経済大学)

## 1. 開催日:2024年9月2日(月)、3日(火)

場所:大会会場=高崎経済大学 1号館3階132教室

情報交換会会場=ホテルメトロポリタン高崎

運営委員会会場=1号館3階 131 教室

## 2. 会費

### (1)大会参加費 3,000 円(一般会員)、1,000 円(学生会員)

※対面参加の方は当日徴収いたします。オンライン参加の方は下記3に参加方法を記載していますので、そちらをご確認の上、お支払いください。

※非会員でシンポジウムのみ参加を希望される方は、対面、オンライン問わず無料で参加できます。オンラインでの参加をご希望の方は、大会実行委員会までメールでお知らせください。Zoom ミーティング情報を折り返しお知らせいたします。(juefcf33@gmail.com)。

### (2)情報交換会費 5,500 円(一般会員等)、2,000 円(学生会員のみ)

## 3. オンライン参加方法

オンライン参加の方には Peatix というオンラインシステムを利用していただきます。大会実行委員会で大会用の Web サイトを立ち上げ、チケットを用意しており、そこからチケットを購入すると、大会参加の ZOOM アクセス情報を入手していただけます。以下のリンクにアクセスし、画面の指示にしたがって購入手続きをお願いします。

日英教育学会第 33 回大会@高崎経済大学 <https://juefcf33.peatix.com/>

## 4. スケジュール

### 第 1 日: 9 月 2 日 (月)

11:00~12:30	運営委員会	1 号館 3 階 131 教室
12:30~13:40	シンポジウム打ち合わせ	1 号館 3 階 135 教室
13:30~	受付	1 号館 1 階 エレベータ前
14:00~16:40	シンポジウム	1 号館 3 階 132 教室
	移動	
18:00~20:00	情報交換会	メトロポリタン高崎

## 【シンポジウム趣旨】

「チャリティと教育—今日におけるチャリティの意義を考える—」

英国の教育は、遠い過去から現在に至るまで、チャリティを抜きにして語り得ない。国民に対する斉一的な「公教育」の制度が確立されるはるか以前から、チャリティは、初歩的な読み書きを教えるささやかな学校からオックスブリッジの大学カレッジに至る各種の教育施設を建て、維持し、貧しい優秀な若者に奨学金を提供するなどしてきた。さらに国内のみならず、イギリス帝国およびその外側に至るグローバルな範囲に、宣教師や団体を介してチャリティ的な教育を広めてきた。こうした現象が英国によって作り出されて、今に至るまで続いている理由と意味を問うことには意義があるだろう。

そもそも英国において、チャリティ(あるいはフィランソロピー)の手が差し伸べられる分野は教育だけではない。それでは、英国のチャリティとはいったい何なのか。そしてその「全体」の中で、教育はどのように捉えられてきたのか。逆に英国の「教育」とはいったい何であって、その全体の中で、諸所に浸潤するチャリティはどのように捉えられてきたのか。本シンポジウムでは、この学際的な問題に歴史学と教育学の双方から接近すべく、西洋史学がご専門の金澤周作氏(京都大学大学院)をお招きして、歴史学の観点から問題提起していただく。

教育学の側からは、会員の本宮裕示郎氏に、英国の教養教育におけるチャリティの影響を論じていただく。

## 【シンポジウムスケジュール】

14:00～ 司会・趣旨説明 吉原美那子(高崎経済大学)

(基調講演)

14:10～15:40 チャリティの歴史から見た教育  
金澤周作氏(京都大学大学院文学研究科)

(指定討論)

15:50～16:10 英国の教養教育という視点から  
本宮裕示郎(滋賀県立大学人間文化学部)

(全体討論)

16:10～16:40

## 【講演者紹介】

金澤周作氏 現在、京都大学大学院文学研究科教授。博士(文学、京都大学)。専門は、西洋史学(イギリス近現代史)。主な著作に『チャリティとイギリス近代』(京都大学出版会、2008年)、「学びを支える社会と力—近代イギリスの教育とチャリティー」南川高志編『知と学びのヨーロッパ史—人文学・人文主義の歴史的展開—』(ミネルヴァ書房、2007年)、『チャリティの帝国—もうひとつのイギリス近現代史—』(岩波新書、2021年)など。

## 【指定討論者紹介】

本宮裕示郎氏 現在、滋賀県立大学人間文化学部准教授。博士(教育学、京都大学)。主な著書に『イギリスの自由教育論争: 教養をめぐる科学と文学の相克』(東信堂、2023年)、「19世紀イギリスにおける教養概念の問い直し: T. H. ハクスリーと M. アーノルドによる論争に着目して」『教育方法学研究』第43巻(日本教育方法学会、2018年)など。

第2日: 9月3日(火)

8:40~	受付	1号館 1階 エレベータ前
9:00~11:30	自由研究発表	1号館 3階 132教室
11:40~12:40	総会	1号館 3階 132教室

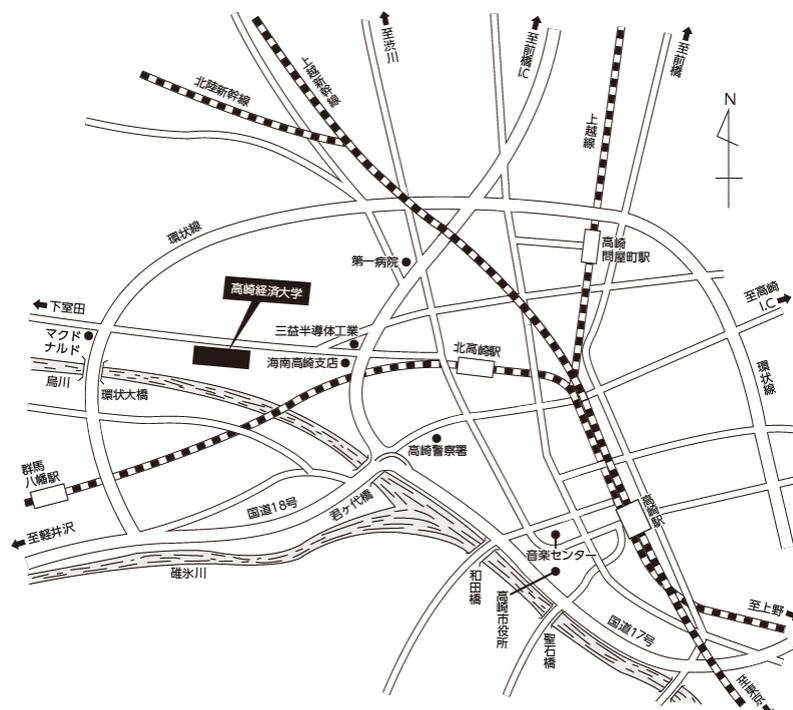
自由研究発表

①9:00~9:25 スコットランドにおける非認知能力育成に向けた教育実践	伊藤駿(京都教育大学)
②9:25~9:50 イギリスの音楽鑑賞教育におけるアクティブ・リスニング —活動を通じた音楽理解の観点—	小松原祥子(神戸女子短期大学)
③9:50~10:15 公正性を担保するための「コンテキスト(文脈)による入学者選抜」の妥当性について —社会的多様性・流動性の確保か、学術的水準の維持か—	沖清豪(早稲田大学)
④10:15~10:40 A.S.ニールの女性解放思想とサマーヒル・スクールの女子教育的側面	持田洸(立正大学)
⑤10:40~11:05 サマーヒル・スクール視察雑感—厳しさを背景にした自由(仮)	広瀬裕子(専修大学)
◎11:05~11:30 全体討論	

司会者: 鈴木麻里子(流通経済大学)

5. 会場アクセス

高崎経済大学  
群馬県高崎市上並榎町1300



詳しくはこちらの QR コードから  
大学の web ページにアクセスを



●高崎駅

①上越・北陸新幹線

東京駅から約50分、長野駅から約50分  
金沢駅から1時間約50分

②在来線

高崎線、湘南新宿ライン、上野東京ライン、  
上越線、信越本線、両毛線など

●タクシーでお越しの場合:

高崎経済大学正門前とご指定ください

●バスでお越しの場合：JR 高崎駅西口から

①群馬バス（2番乗場）

室田行き／榛名湖行き／箕郷行きの「経大(ケイダイ)経由」に乗車し、「経済大学前」で下車してください。

7:25→7:38	8:10→8:28	8:16→8:30	8:30→8:44	9:30→9:44	9:46→10:00
10:00→10:14	10:30→10:44	11:30→11:46	12:30→12:44	13:30→13:44	

②市内循環バスぐるりん（4番乗場）

系統番号3 経大先回りに乗車し「経済大学前」で下車してください。

7:50→8:10	9:50→10:10	10:50→11:10	11:50→12:10	12:50→13:10	
-----------	------------	-------------	-------------	-------------	--

\* 表記以降のバスの時刻は、バス停または大学 HP でお調べください。

\* 大学から高崎駅行のバスの時刻は、大会受付に掲示します。

6. 会場案内図



- ・バスでお越しの場合は、「経済大学前」で下車し、右手の歩道を直進してください。
- ・正門から図書館に向かい、右折するとすぐに会場である1号館がみえます。
- ・1号館1階で受付を行い、3階へ昇ってください。
- ・7号館1階に学食があります。11:30～13:30の営業です。
- ・三扇会館1階に生協があります。10:00～14:00の営業です。
- ・1号館の6階に自販機とラウンジがあります。休憩にお使いください。

7. WiFiについて

Eduroamが利用できます。アカウントをお持ちの方はご利用ください。その他、学内WiFiをご利用になりたい場合は、会場受付にてご案内いたします。

8. 軽食について

大会のメイン会場である132教室の後方に軽食(カフェ「あすなろ」提供)をご用意いたします。ご自由にお召し上がりください。

9. お問い合わせ

- ・ 第33回大会実行委員会事務局 高崎経済大学 吉原研究室 [juefcf33@gmail.com](mailto:juefcf33@gmail.com)
- ・ 学会事務局 [jimukyoku@juef.org](mailto:jimukyoku@juef.org)